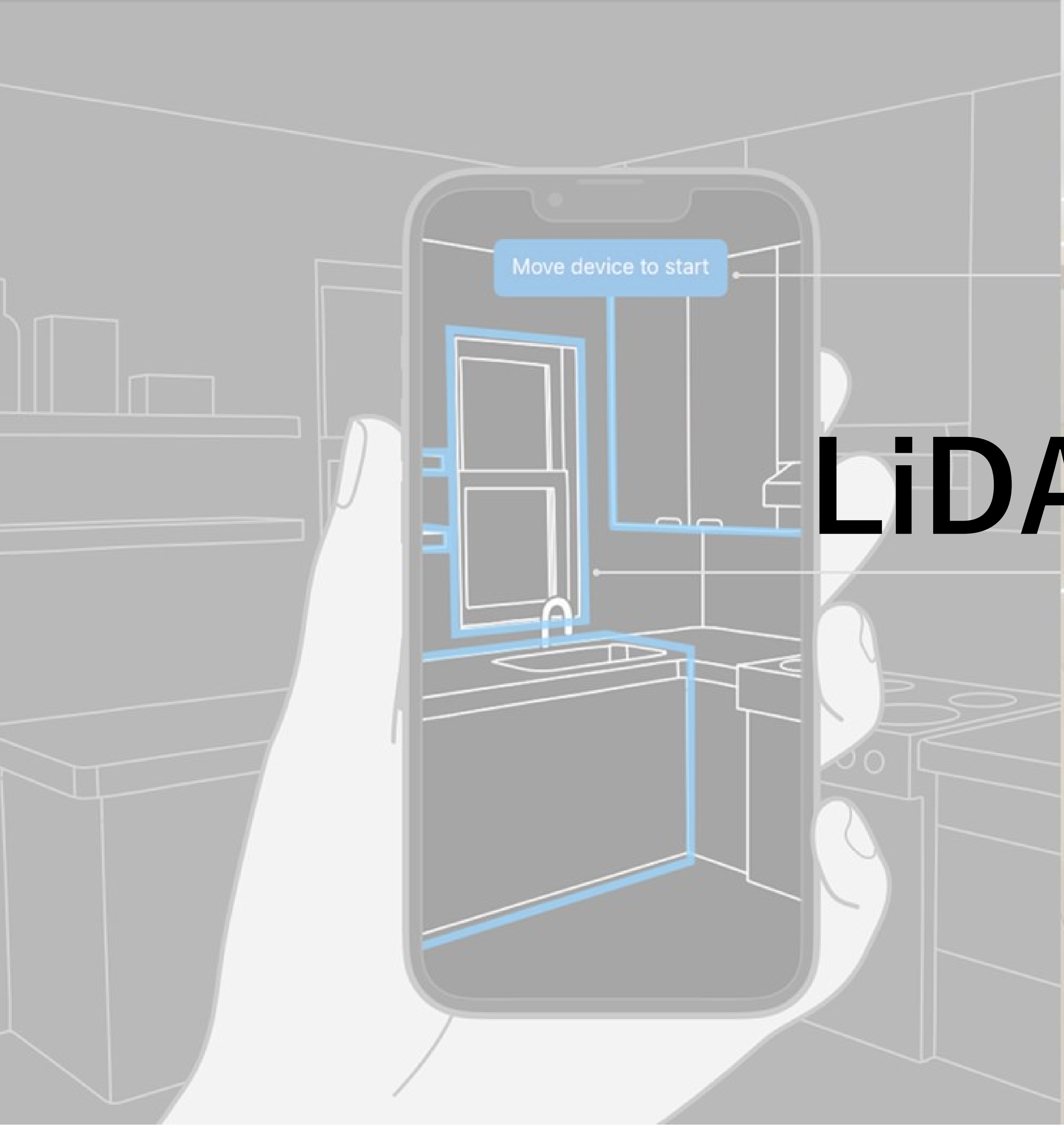


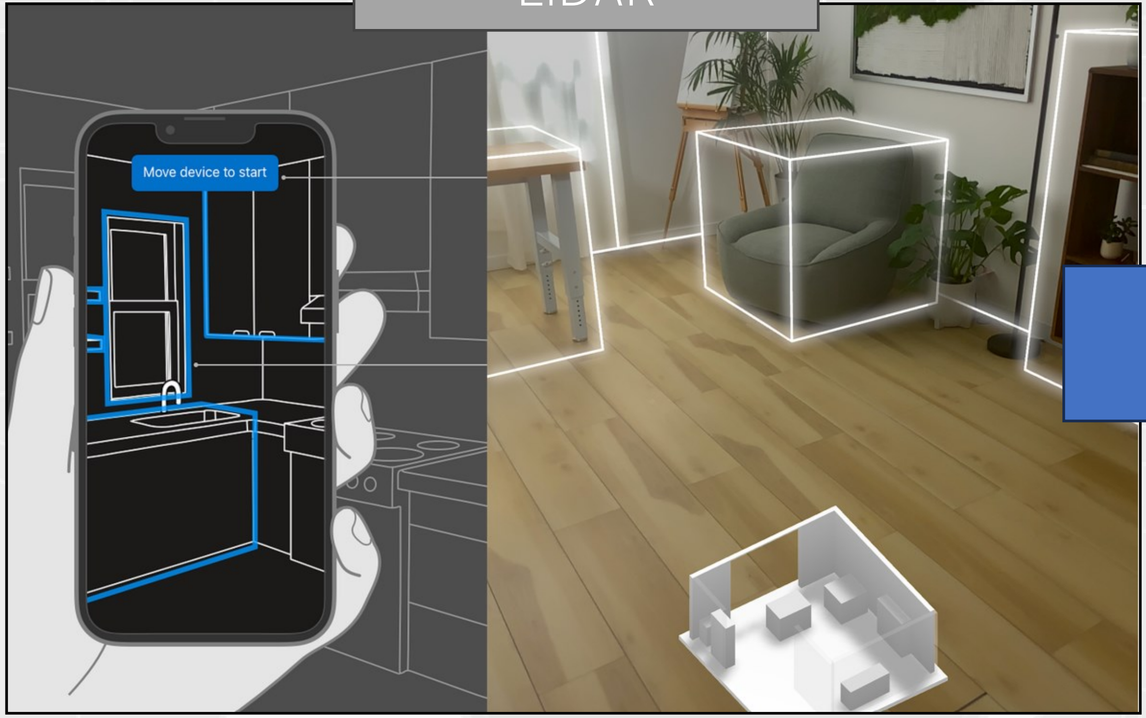
LiDAR

株式会社　キャドネット

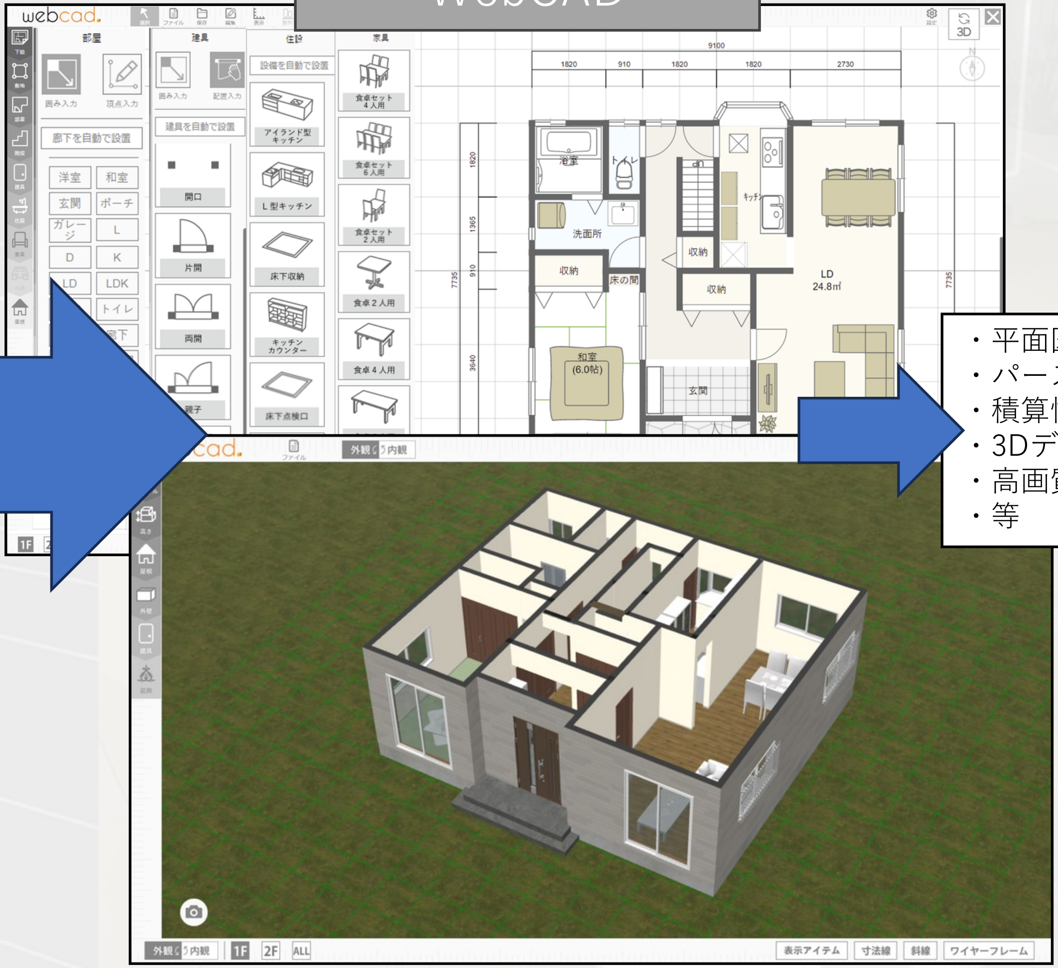
LiDARとは

現状の部屋をスキャンし、その場でWebCAD図面化するシステムです。
WebCAD図面データから様々なデータに連携が可能です。

LiDAR



WebCAD



- 平面図
- パース図
- 積算情報
- 3Dデータ
- 高画質レンダリング
- 等

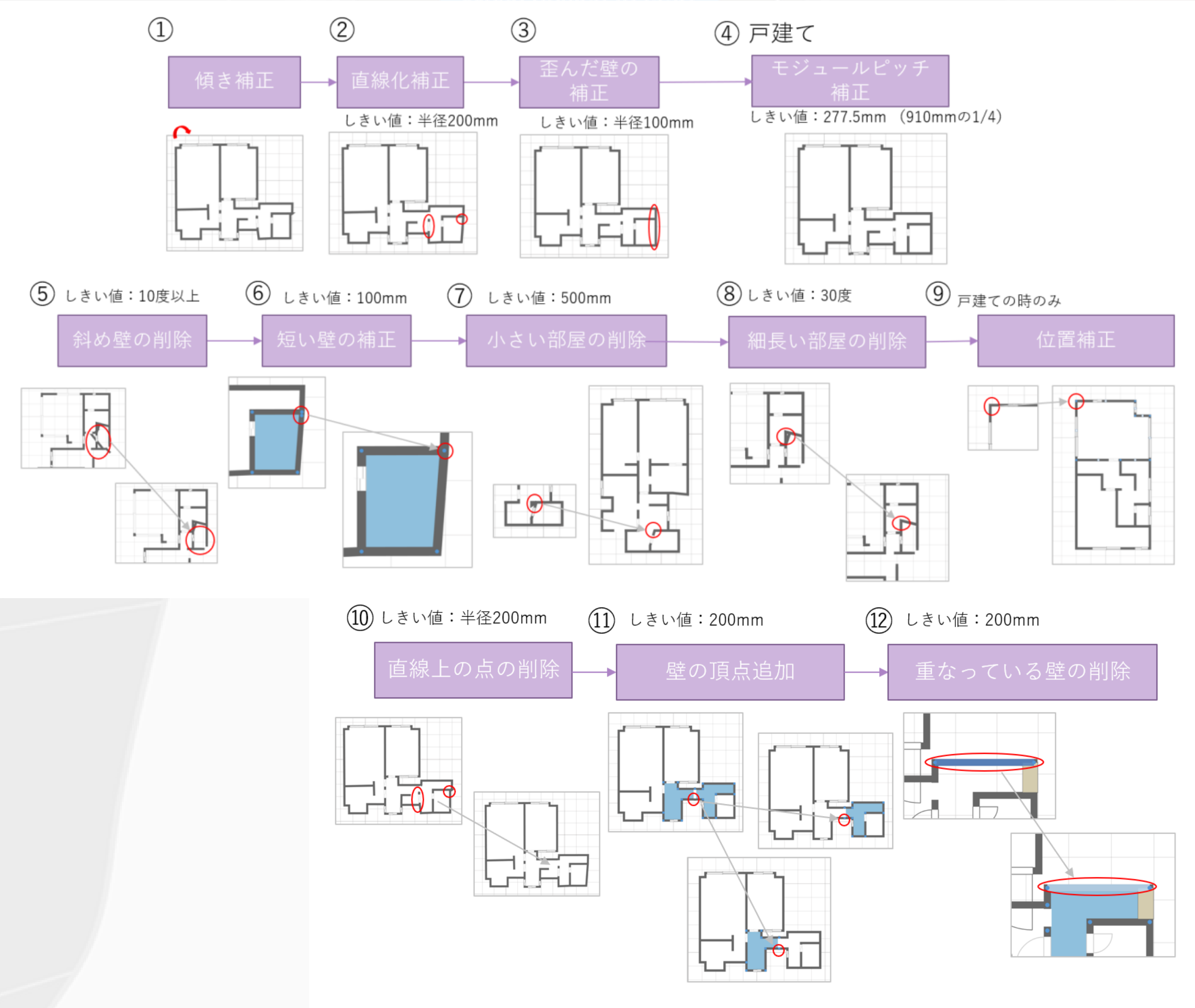
実際のデモ

機能①　戸建てとマンション選択

スキャンする建物モードを選べます。それぞれの特徴にあったスキャンが行えます。

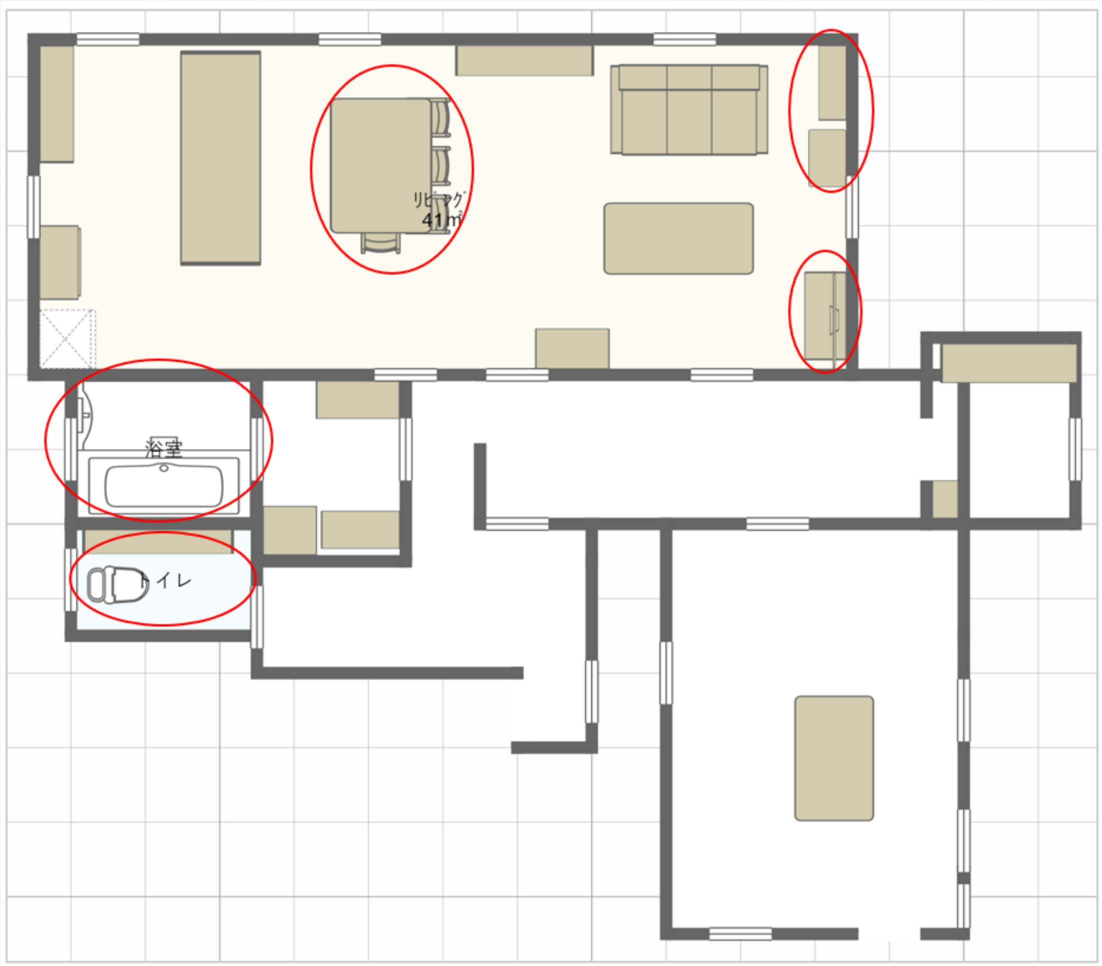
機能②　図面自動補正

スキャンデータを独自の12段階の法則で図面として自動補正を行います。閾値の変更も可能です。



機能③　部屋と建具の自動判定

認識した設備や家具より部屋属性を判断。窓とドアのサイズより形状を自動的に判断します。



例）
・浴槽がある部屋は浴室
・便器がある部屋はトイレ
・テーブル、ソファー、TVがある部屋はリビング
・廊下に接する部屋にある1ピッチまでのドアは片開
・等々、

機能④　補正ウィザード

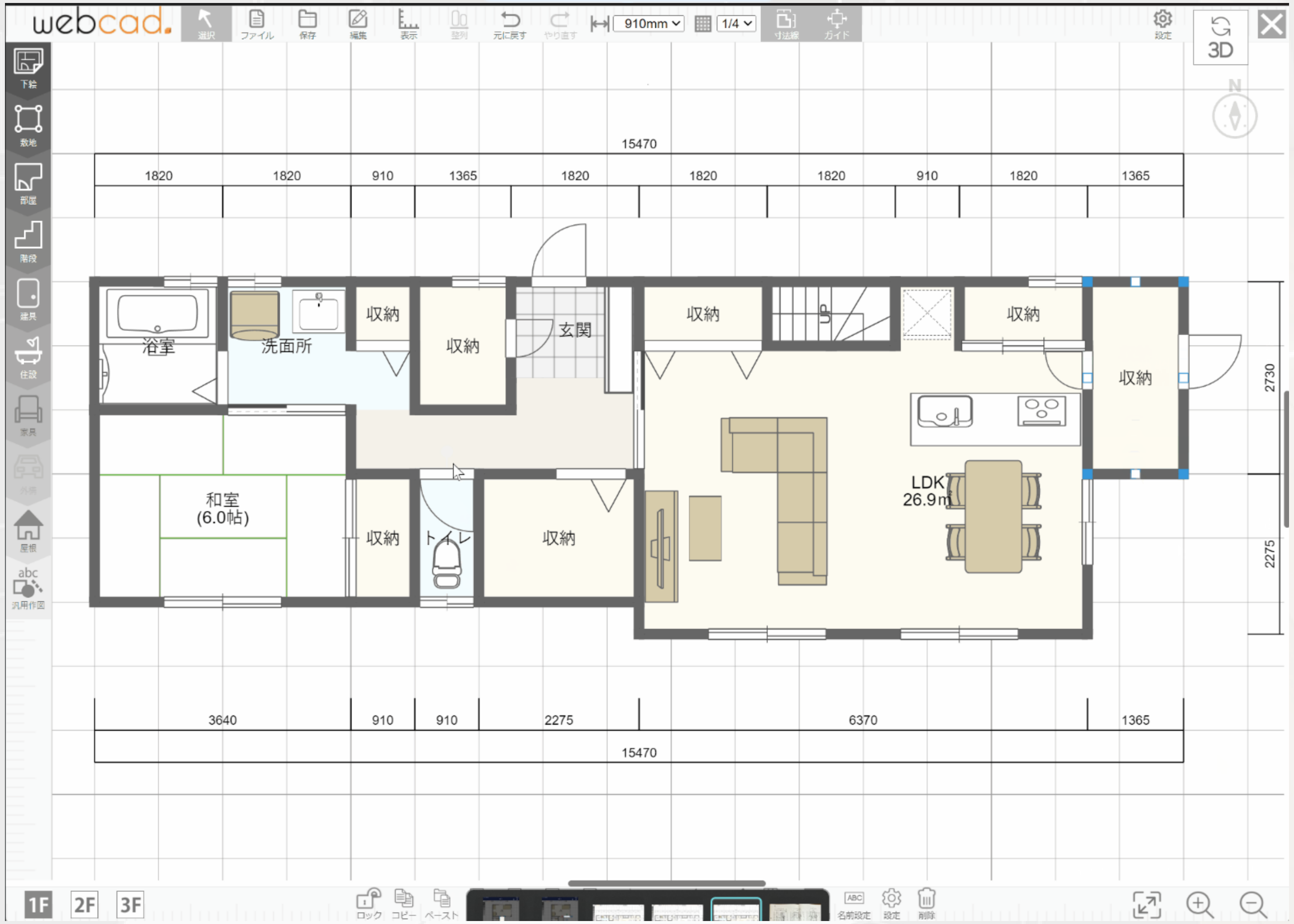
不明な部屋や建具タイプは順番に手動で選択が可能。

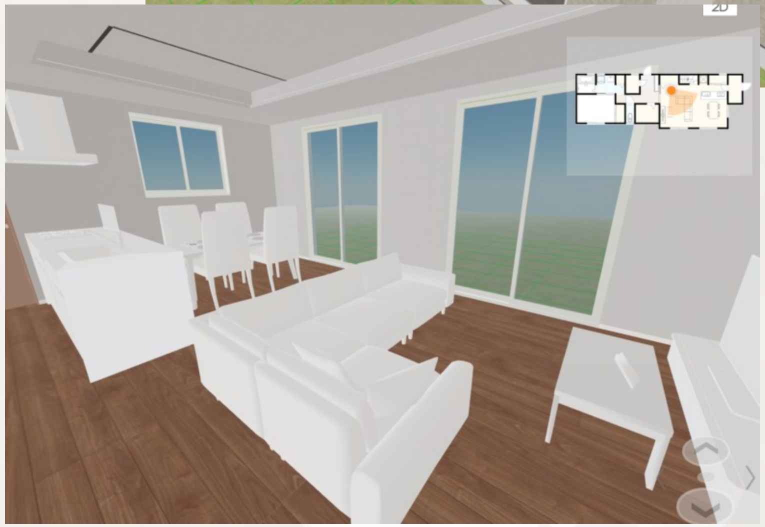
部屋ウィザード

建具ウィザード

機能⑤　手動図面補正

図面はiPad上でもブラウザを使ってのWebCAD上でも自由に編集が可能です。





他社製品との比較

性能	弊社	他社	コメント
安定性	○	×	F社製は部屋単位でデータ整合性を保ち、結合する機能が無いためデバイスのメモリーが圧迫されアプリが強制終了する事が多く感じられた。
複数の部屋対応	○	△	弊社製は部屋単位で部屋データを整理する「一時停止」機能があり、複数の部屋に対応している。
複数の階対応	○	×	弊社製は階の切り替え時に一時停止機能により、複数階にも対応。
自動補正	○	△	LiDARデータを図面データに変換する際に、弊社製は「閾値」をもって間取り図面に変換を行え、閾値も変更可能。
補正ウィザード	○	×	弊社製はLiDARデータからでは判別できない全ての部屋属性や建具についてウィザード形式で手動設定が可能。
図面手動補正	△	△	図面を手動で変換する機能はあるが、iPadでの操作性は良くない。弊社製は現在改良中。
CAD連携	○	?	図面データとしてWebCADおよびDTXファイルによってWalk in Homeに連携可能。

※他社製品とは2023年10月時点の特定のアプリを対象としており、この限りではありません。